

秋田駒ヶ岳のお花畑

エゾツツジ、アオノツガザクラ、サラサドウダン、ムシトリスミレ、ヒナザクラ、ミヤマダイコンソウ

盛岡森林管理署 森林技術指導官 松尾 亨

6月は東北各地の夏山シーズンの幕開けで、これからが高山植物を楽しめる時期です。北東北は梅雨入り前半の雨量が少ないので、6月後半からがお花見のチャンス。今回は秋田・岩手の県境にそびえる駒ヶ岳の花畑を紹介します。

エゾツツジは岩場や礫地で見られピンクの花弁が鮮やかで上弁に斑点があります。岩手山や早池峰など本州では限られた分布です。

アオノツガザクラは、針葉で常緑の葉に薄い黄緑の壺状の花を付けます。由来は花が緑で、葉を柵つがに、花を桜さくらに見立てたことからです。

サラサドウダンは、釣り鐘状の薄いピンクの花に紅色の線が入ります。由来は花の文様さらさらを見立てたことから。

ムシトリスミレは雪田付近や湿った岩場で

見られ、粘着質の葉から消化粘液を出す食虫植物です。花は紫で5裂しスミレに似ていますが生態も違うタヌキモ科でスミレの仲間ではありません。

ヒナザクラは雪田や湿地で見られるサクソソウ科の植物で、花は白く5弁に分かれさらに浅く2列し東北地方に多く分布します。

ミヤマダイコンソウは大振りで切れ込みのある葉と、2cm程の黄色の花が特徴で岩場や礫地でみられます。バラ科でアブラナ科の大根とは無関係ですが、根生葉が大根に似ていることから漢字で深山大根草。

山はいつも好天気的笑顔で迎えてくれるわけではありませんが、谷間にそよぐ風やお花畑の原色を楽しみに「今日の幸運」に感謝し望みましょう。下山後の筋肉と胃袋へのアフタケアも大切に楽しみたいですね♡



エゾツツジ



アオノツガザクラ



サラサドウダン



ムシトリスミレ



ヒナザクラ



ミヤマダイコンソウ